

「妊娠中からの気になる母子支援」公開シンポジウム

子どもと貧困

日時: 2012年9月30日(日)
10:00~12:30

会場: 岡山大学鹿田キャンパス
医学部 保健学科棟3階
301大講義室

参加費無料
駐車チケットあり

産後の精神支援パンフレット
10代の妊婦用パンフレット
妊娠中のDVパンフレット
配布中

テーマ
貧困の現状を知る。
そして、私たちにできる
支援は何か？

コーディネーター 岡山子育てネットワーク研究会

小西稔子(学習塾「すくーるふたば」)

飛び込み分娩の背景の1位は「経済的困難」、貧困は、虐待など、その後の子育てに大きく影響。貧困については、気にはなっていたけれど、自分にはどうすることもできないこととして見ないふりをしてきた。まずは知ることからはじめたい。一人で考えても行き詰ってしまう。多くの人といっしょに考えてみたい。

シンポジウム 司会 小西稔子

◆ 現場の立場から 10:10 - 10:30

「子育て家庭の中で見た問題と私たちにできる対応」

10:10 - 10:30 北條慶子(牛窓ルンビニ子育て支援センター)

◆ 研究者の立場から

「社会的ハイリスク妊婦の背景としての経済的困難：岡山県のデータから」

10:30 - 10:40 中塚幹也(岡山大学大学院保健学研究科)

「不登校の子どもと貧困(仮)」

10:40 - 11:20 笹倉千佳弘(就実短期大学 幼児教育学科)

NHK Eテレ「ハートネットTV」 2012年5月14日放映 11:30 - 11:55

シリーズ 貧困拡大社会(3)「生活保護世帯の子どもたち」(25分)

生活保護世帯の子ども達の現状

小学5年の女の子(父は失業、母は統合失調症、寝たきりの祖母との4人暮らし)を追う。神奈川県福祉事務所が行っている子ども支援員の活動(子どもが20歳になるまで、訪問をしながら継続的に支援をしていく)を通じて、子どもが自立していく支援の仕組みを考える。

11:55 - 12:30

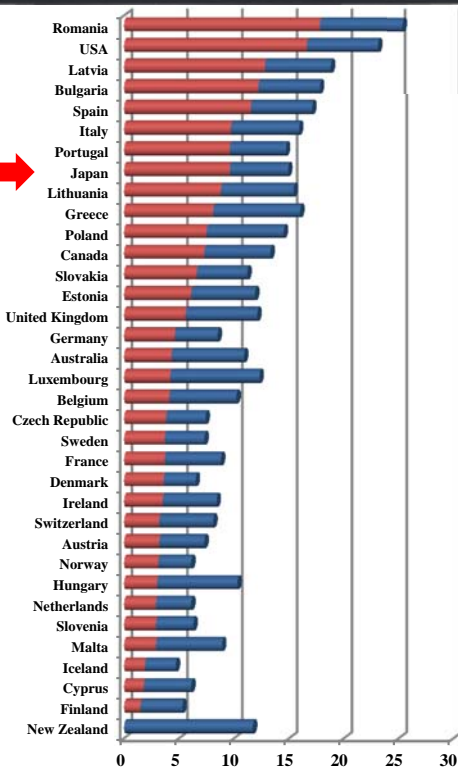
◆ 総合討論(全体で)

北條慶子, 中塚幹也, 笹倉千佳弘,

行政より(予定)

赤迫康代

(NPO 法人 子ども達の環境を考える ひこうせん)



(% of children living in households with equivalent income lower than 50% of national median)

■ 貧困(平均所得の50%未満の家庭で生きる子ども)

■ 極貧(平均所得の40%未満の家庭で生きる子ども)

国連児童基金(ユニセフ)報告書2012から作成
日本は2009年のデータ

「学ぼう! 妊娠・子育て」プロジェクト 登録者 募集中!!

産科スタッフ・子育て支援スタッフ・地域保健スタッフ・学生などなど、

「時々、学びたいな」と感じる方々。会場で登録受付

登録者には スマートフォン対応ノート「CamiApp(キャミアップ)」 無料提供中
各種のセミナー・講演会等のお知らせ、公開セミナーの配信などの無料サービス

「妊娠中からの母子支援」即戦力育成プログラム

岡山大学大学院保健学研究科 育成プログラム事務局
〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1

Phone & Fax:086-235-6538

E-mail:josan@cc.okayama-u.ac.jp

URL: http://www.okayama-u.ac.jp/user/josan/index

岡山県産婦人科医会

〒703-8278 岡山市中区古京町1-1-10-602 県医師会内